

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

熊本の賃金相場を動かしたTSMC 山川 龍雄（「日経ニュースプラス9」キャスター）

1. 大卒初任給が28万円、中途社員の年収が800万～1200万円。台湾積体回路製造（TSMC）の進出が熊本の賃金相場を上昇させている。日本が目指す「良いインフレ」のモデルだ。地元の肥後銀行には、1000件以上の融資相談を含む問い合わせが寄せられているという。教育現場も動き出した。熊本大学は24年度、半導体人材を育成する学部を新設する。九州にある複数の高等専門学校は半導体関連の授業を拡充した。
2. 移動棚の大手・金剛（熊本市）では、複数の社員が半導体関連の企業に転職した。直接TSMCに転職したわけではないが、周辺の手前半導体関連企業の従業員がTSMCの引き抜きに遭い、開いた穴を埋めるために、多くの企業が好条件で人材を募集しているという。同社の田中稔彦社長は、「世界で競争するTSMCは、当たり前前の給与水準を提示している。熊本の経営者がこれまで低い賃金で済む環境に甘えていたのかもしれない」と語る。
3. もちろん賃金上昇に耐えられず、淘汰される企業も出てくるだろう。だが一方で、変化に対応した企業は成長の果実を得る。熊本を中心に半径1500Kmの円を描くと、東京、台北、ソウル、上海などが入る。今後、熊本は国際的な半導体サプライチェーンの軸として、いや否なく「世界標準の経営」を突き付けられる。

（参考：「日経ビジネス」2022年10月31日号）

経営者のための理念・哲学

「遂げずばやまじ」

1. 「遂げずばやまじ」。目標を持ったら成功するまでは絶対にやめない、という固い決意の言葉である。執念の極地を示した言葉といえる。古来、世の偉業を成した人は皆、この言葉を体現した人である。日本の蘭学の先駆者、大槻玄沢おおつきげんたく（1757～1827）は生涯この言葉を自戒の語としていた。
2. 玄沢の言葉が残されていた。「およそ事業は、みだりに興すことあるべからず。思いさだめて興すことあらば、遂げずばやまじの精神なかるべからず」。事実というのは気ままな気持ちで始めてはならない。心に深く注意して事を興すなら、何があっても必ずやり遂げるという強い思いを持って始めなければならない、ということである。

（参考：「致知」2023年1月号）

新規成長分野

第3ステージを目指す「道の駅」

1. 93年4月に全国103カ所の登録で始まった道の駅は、22年8月時点で1198駅まで増加した。北海道が、127駅と最も多い反面、東京都が1駅、神奈川県が4駅だ。国交省は道の駅の進化を93年以降の第1ステージ、13年以降の第2ステージ、20年から25年までを第3ステージと位置づける。第3ステージでは「地方創生・観光を加速する拠点」を目指す。
2. とくに防災面では東日本大震災や熊本地震で道の駅が被災地の救援基地として活用された。今後はハード・ソフト両面で支援する「防災道の駅」を全国で100カ所ほど選定する予定だ。また、積水ハウスと米マリオット・インターナショナルは20年10月から、宿泊特化型ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット」を道の駅に隣接して展開している。館内にレストランは設けず、食事は道の駅の飲食施設などを利用してもらう。25年に26道府県で3000室が目標だ。

（参考：「週刊東洋経済」2022年10月15日号）

古典に学ぶ

「人々を救いたい」（空海）

1. そんな自分をつくるための心強い存在が、名僧といわれる僧侶の中でひときわ輝く空海という言葉です。「弘法大師」「お大師様」の名前で親しまれる空海は、平安時代のはじめ遣唐使として中国（唐）に渡り、仏教の教えのひとつである密教を学びます。
2. その後、各地を旅して厳しい時代を生き抜く知恵を説き、多くの書物を著しました。一生を通して「人々を救いたい」という堅固な思いを貫いた空海という言葉は、誕生して1250年経た今も、私たちに勇気づけ、導いてくれます。

（参考：名取芳男監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社）